

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等											
名称		株式会社 黄桜の里				電話番号		0184-69-2611			
所在地		秋田県由利本荘市東由利老方字畑田28番地				FAX番号		0184-69-2839			
設立年月日		平成7年5月25日				HPアドレス		http://www.ont.ne.jp/~k-yurari/			
2 資本金		96,000千円		市出資金		90,000千円		市出資割合		93.8 %	
3 事業内容		1. 道の駅「東由利」関連施設の管理運営(東由利温泉保養施設黄桜温泉「湯楽里」(温泉、売店)、東由利産地形成促進施設(レストラン)、ファーストフード店等) 2. 道の駅「東由利」に係る受託業務(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理) 3. 上記に関連する一切の事業									
4 財務状況(平成31年3月31日現在)											
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き				
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度		
	総資産	60,975	55,263	46,899		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	221,622	210,891	202,239		
	負債	14,737	14,455	19,221		(内市からの補助金・指定管理料)	27,832	27,986	27,873		
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	1,964	△ 5,247	△ 12,946		
	純資産	46,238	40,808	27,678		当期純利益	1,604	△ 5,431	△ 13,130		
	利益剰余金	△ 49,762	△ 55,193	△ 68,322		減価償却前当期利益	1,731	△ 5,369	△ 13,075		
5 役職員の状況(平成31年3月31日現在)											
取締役数(うち市出向者・退職者)				7 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)				20 (退 0)	
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)											
(1)公的支援(平成31年3月31日現在)											
項 目		前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)						
①補助金(助成金)		0	0	0							
②利子補給		0	0	0							
③税の減免額		0	0	0							
④その他		0	0	0							
小 計		0	0	0							
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0							
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用		0	0	0							
小 計		0	0	0							
合 計		0	0	0							
【参考】指定管理料(税込)		29,654	30,059	30,103	道の駅周辺施設						
(2)その他(平成31年3月31日現在)											
項 目		前々年度	前年度	本年度							
①損失保証契約に係る債務残高		0	0	0							
②貸付金残高		0	0	0							
③出資金(増資等)		0	0	0							
合 計		0	0	0							
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書											

※本資料は、第24期決算報告書(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 2 5 期)

自 平成 3 0 年 4 月 1 日

至 平成 3 1 年 3 月 3 1 日

株式会社 黄桜の里

由利本荘市東由利老方字畑田 2 8 番地

0 1 8 4 - 6 9 - 2 6 1 1

事業報告書

第25期

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

今期におきましては、前年売上額に対し、約1,314万円の売上減少となってしまいました。各セクションでも人員不足が営業活動に支障が出た年であり、特にファーストフードでは営業ができなくなったりし経営にも大きく影響が出ました。企画関係においても、社員の入替えなどでスムーズにいかなかった面もあり苦戦しましたが、売上額は何とか確保してきております。

25期も予算はもとより、前年対比においても今一つ来客数の伸びがなく約7%の減少となり経費面でも削減に力を入れ、売上分をカバーする為に努力をして来ている状況でありました。

◎ 経営状況におきまして、売上予算対比 83.8%、前年対比では92.6% 人数予算対比 81.3% 前年対比92.6%と苦戦をしております。各セクション前年対比で2～6%の減少となっておりますが、特にファーストフードでは67.6%と約720万のダウンとなり全体の売上を下げたままとなっております。全体の売上ダウン額の54.8%を占めており大きなマイナス要因となっております。また、灯油代の値上がりで前年より約131万の増加や、電気代の燃料調整費の値上げ、今期は定年退職者2名と重なり退職金約604万円の計上が大きく影響を及ぼしましたが、料飲の原価率においては、目標以下の33.4%と削減をしております。

◎ 当期純利益におきましては、昨年との比較では各科目で削減の実施を行って来ておりますが、ガス代の削減で約143万円があっても灯油代の増加などや、退職金の大きな増加などがあり、また人員不足による営業停止などでの売上額の減少が重なり、当期純損失が大きくなってしまい、残念ながら最終では 1,313万円の赤字となってしまいました。

◎ 各セクションの状況に対しましては、

フロントの売上につきましては、予算対比87.3% 前年対比97.7%となっております。前半の動きは今一つであったが、後半は前年対比では達成率100%以上達成してきており半期は101.3%にして、追い上げてきておりましたが最終的に3%不足でありましたが、利用者数においては、前年対比100.6%とし来期に向け弾みが出て来ております。

レストランでは、売上予算対比 88.0%と、前年対比であと一步の 93.6%でありました。25期前半にベテランの料飲課長などその他数名の退職などで、大半の社員の入替わりがあり営業展開においても、支障が出てクレームをもらったりしましたが、その後、サービス能力の向上や指導等、技術のレベルアップなどを図ってきており、企画においてもスムーズに動くようになってきております。26期には安定した営業展開で売上増加を目指したいと思っております。

宴会におきましては、売上予算対比 85.3%前年対比では 96.9%と約△221万円となりあと一步となっております。前年対比では5ヶ月間達成率100%以上にしておりましたが、4月、8月、2月での利用減少が響き前年並みにはいきませんでした。又、人員不足の為、営業能力が低下し宴会を処理できなかった状況が悔やまれますが、料飲全体をレベルアップし、処理能力を上げて行き、26期に繋げて行きたいと考えております。

FFにおきましては、売上予算対比61.2% 前年対比67.6%と今までにない売上額と達成率となってしまいました。6月～9月までに4名が退職となり、人員不足の為に営業ができなかったり、半日の営業であったりと、なるだけ営業をしてきましたが、現在も営業時間の削減などし、又、合わせて人員確保もして、徐々にメニュー等も増やしております。オリジナルメニューや、商品も早急に復活させて、元の売上額を確保できる様に努力しているところであります。

売店におきましては、売上予算対比90.8% 前年対比97.3%と、約50万円の売上減少となりましたが、前半は達成率92.4%として、後半は104%にまで上げてきております。話題性のある商品販売や、宴会利用の商品の見直しなどで売上増加を狙って来ております。

売上目標につきましては、目標予算額19,595万円に対し83.8% 前年対比では92.6%となっております。各セクション13%位落としており、集客の減少が他の各施設でも話されておりますが今後、集客率向上以外にも、客単価アップ策も考慮に入れて行きたいと考えており特に宴会の法要関係でも7回忌以上の獲得にも力を入れ、客単価UPを狙って行きたい。

26期の目標額につきましては、190,700,000円とし、前年実績額に対し116.2% (約2,665万円)とし、当期利益は150万円を目標としております。人材の確保安定と接客サービスの向上が急務と考え、時間をかけ対応していきたいと思っております。又、適正な原価率の継続と、料理内容の改善も含め売上確保をして目標を達成していきたい。

第25期(平成30年 4月1日～平成31年 3月31日まで)

貸借対照表、損益計算書

貸借対照表

第 25 期 (平成31年 3月31日現在)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
A 流動資産	37,916,990	流動負債 ①	19,221,160
現金・預金	29,877,306	買掛金	3,640,820
売掛金	644,712	未払法人税等	184,000
たな卸資産	7,235,254	未払費用	14,149,440
その他流動資産	159,718	前受金	0
B 固定資産	8,981,835	預り金	101,000
有形固定資産	160,281	未払消費税	1,122,500
建物	42,409	金券	23,400
車輛・運搬具	3	固定負債 ②	0
工具・器具・備品	2,260	D 負債合計 ①+②	19,221,160
建物付属設備	115,609	資本金 ③	96,000,000
一括償却資産	0	資本剰余金 ④	0
無形固定資産	76,440	利益剰余金 ⑤	-68,322,335
投資等	8,745,114	繰越利益剰余金	-68,322,335
出資金	105,000		
保険積立金	8,640,114	E 純資産合計 ③～⑤	27,677,665
保証金	0		
長期前払費用	0		
C 繰延資産	0		
A+B+C 資産合計	46,898,825	D+E 負債及び純資産合計	46,898,825

(単位:円)税別

損益計算書

(平成30年 4月1日～平成31年 3月31日まで)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
売上高	164,048,204	売上原価	63,789,197
経常損益			
計 ①	164,048,204	計 ②	63,789,197
の部	①-②	A 売上総利益	100,259,007
		販売費及び一般管理費	151,394,826
		計 ③	151,394,826
	A-③	B 営業利益(損失)	-51,135,819
営業外収益	38,189,810	営業外費用	103
(委託料収入29,998,400)			
計 ④	38,189,810	計 ⑤	103
	B+④-⑤	C 経常利益(損失)	-12,946,112
特別利益	906	特別損失	0
損益の部			
計 ⑥	906	計 ⑦	0
	C+⑥-⑦	D 税引前当期純利益(損失)	-12,945,206
		E 法人税及び住民税	184,499
	D-E	F 当期純利益(損失)	-13,129,705

(単位:円)税別

第3号議案

事業計画案承認の件

第26期事業計画案

《 社員の入替りにより体制立て直しと、作業能力の向上により黒字復活を目指す 》

事業	内容
目 標	1、 人材の補充に伴い、接客対応と能力のレベルアップを図り、体制の立て直しを行う。 2、 25期で達成した料飲の原価率を維持しつつ、更なる作業効率を目指す。 3、 黒字化への転換の為、効率的な営業展開で売上確保と更なる経費削減で、収支のバランスを図り黒字化を目指す。
営 業 面	1、 フロント ① 「道の駅の日」での、フロント企画もマンネリ化を防ぐ為に、再度企画風呂の練り直しも行って行く。 ② パークゴルフ場の拡張に伴い、パークゴルフ場からの誘客狙いで、年間を通し入浴優待券の提供で温泉の利用促進とPRを図って行く。 ③ お盆前や、正月、年度末など入浴利用率の強化策(割引回数券での販売促進)を図る 2、 売 店 ① 売上比率が高くなった宴会利用の引き物関係や、オリジナル商品にも力を入れ売上増加を目指す。 ② 地域商品、特に由利本荘市地域の商品コーナーの充実を図り、商品の差別化で売上増加を狙う。 3、 食事処「やしお」 ① 地域の特産品の企画である、「秋田由利牛直営店キャンペーン」、毎月の「漁師飯フェア」や由利地域振興局との連携での「まるっと鳥海わくわくキャンペーン」、「道の駅バトル」などや、更なる企画として、「鳥海ダムカレーフェア」なども検討して企画の強化を図り売上に繋げて行きたい。 ② 今年度から和食の調理長から、洋食専門の調理長の交代もあり、作業効率も考慮し和食の比重を洋食メニューに移行し、イメージを変えながら利用促進を図って行きたい。 4、 宴 会 ① 法要関係の要望の変化に合わせ、料理内容の見直しを行ってきましたが、今後洋食メニューも積極的に取り入れ要望に応え商圏拡大も目指す。 ② 高単価になってきている、7回忌以降の「年回忌法要関係」の管理と予約確保の強化により売上増加に繋げて行く。 5、 ファーストフード ① 人員確保の次は、以前の営業展開とオリジナルメニューの復活をめざし、作業能力を高め早期に以前の売上額の確保に繋げて行く。
経 営 面	1、 ◎ 前期の売上金額(164, 048, 204円)に対し、今期は 16% アップ(約2,675万円)の目標額190, 800, 000円とし、目標達成に努力する ◎ 第26期の当期純利益の目標を、 1, 500, 000円を目標とし、売上増加と経費削減に努め又、収支のバランスを図り効率化で黒字転換を目指す。
施設、その他	1、 電力供給会社の「F-power」においても燃料調整額や、再正エネルギー賦課金も値上げをして来ており、4月より電力供給業者の交換により、前期より180万円の削減をして行く。 (丸紅新電力 株式会社へ移行) 2、 施設の老朽化の中でピットの配管関係、脱衣室床、浄化槽の配管の腐食によるエア一漏れ等今期中の補修改善を行って行きたい。

第26期 売上予算と前年売上実績対比

平成31年4月～令和2年3月

セクション		金 額		人 数
フロント	26期 予 算 額	20,100,000	予 算	51,550
	前 年 実 績	18,427,076	前 年 実 績	48,719
	前年実績対比	109.1%	前年実績対比	105.8%
	前年予算対比	87.3%	前年予算対比	86.6%
宴 会	26期 予 算 額	82,400,000	予 算	17,600
	前 年 実 績	70,165,876	前 年 実 績	14,697
	前年実績対比	117.4%	前年実績対比	119.8%
	前年予算対比	85.3%	前年予算対比	81.9%
レストラン	26期 予 算 額	48,000,000	予 算	38,400
	前 年 実 績	41,893,197	前 年 実 績	33,491
	前年実績対比	114.6%	前年実績対比	114.7%
	前年予算対比	88.0%	前年予算対比	90.3%
売店A	26期 予 算 額	18,500,000	予 算	12,300
	前 年 実 績	17,982,273	前 年 実 績	11,214
	前年実績対比	102.9%	前年実績対比	109.7%
	前年予算対比	90.8%	前年予算対比	95.4%
FF	26期 予 算 額	21,000,000	予 算	45,400
	前 年 実 績	15,000,956	前 年 実 績	32,285
	前年実績対比	140.0%	前年実績対比	140.6%
	前年予算対比	61.2%	前年予算対比	64.9%
その他	26期 予 算 額	800,000		
	前 年 実 績	738,551		
	前年実績対比	108.3%		
	前年予算対比	105.5%		
売上値引き	26期 予 算 額	-100,000		
	前 年	-159,725		
合 計	26期 予 算 額	190,700,000	予 算	165,250
	前 年 実 績	164,048,204	前 年 実 績	140,406
	前年実績対比	116.2%	前年実績対比	117.7%
	前年予算対比	83.8%	前年予算対比	81.3%